

# 病院計画 総覧



ニッポンの医療を守る  
病院開発の最前線



## ジャパンメディカルアライアンス

### 東埼玉、海老名、座間総合病院を軸に展開

(社医) ジャパンメディカルアライアンス (JMA、神奈川県海老名市河原口1320) は、仁愛の心を持ち、24時間365日、安心・安全で、質の高い保健から医療、介護サービスまで提供している。1973年に(医) 社団仁愛会が開設した東埼玉病院が始まり。2016年10月現在では、救急・一般病院は3病院、診療所・クリニックは3施設、老健は1施設を展開。関連法人は(医) 社団静岡メディカルアライアンスと(福) ケアネットである。前者は救急・一般病院を1病院、診療所・クリニックを3施設、老健を1施設、後者は特養を5施設展開している。

最新の施設としては、16年4月1日にキャンプ座間チャペル・ヒル住宅地区一部返還予定地で建設を進めていた座間総合病院をオープン、同月4日から外来診療を開始した。所在地は、神奈川県座間市相武台1-50-1。小田急小田原線相武台駅から徒歩15分、同駅から乗ることができる専用シャトルバスで5分の場所に位置する。県道51号の道路を挟んで正面には座間市消防本部がある。これまで座間市は海老名市など隣接する病院の協力なしには2次救急輪番を組むことができず、そのため市外への救急搬送率は8割近くに達していたが、同病院がオープンしたことで市民の高い医療ニーズに対応できるようになったほか、救急患者の多くを受け入れることが可能となった。

診療科目は、内科(総合診療科)、糖尿病内科、循環

器内科、神経内科、漢方内科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科、人工関節・リウマチセンター(リウマチ科)の19科目を標榜。

特徴的な科目として、総合診療科では、高齢化につれて症状が多様化していく中で、例えば「腸が痛い」「肺が痛い」など患者自身が理解して症状を訴えてくることは珍しく、一般的には「お腹のあたりが痛い」「眩暈がする」「咳が止まらない」など漠然とした理由で来院することが大半なことから、まず内科、外科と全体を診察できる幅広い知識を持った医師が対応し、治療を施す上で必要な場合は、専門の科へ振り分ける仕組みとなっている。

人工関節・リウマチセンターは同グループの海老名総合病院から移転・拡大したもので、整形外科の中でも関節に特化している。人工股関節や人工膝関節などの関節置換手術にも対応しており、股関節や膝の痛みによる歩行困難などの症状を改善していく。なお、産科は設置されていないが、海老名総合病院(神奈川県海老名市河原口1320)と連携して対応する。

病院の施設規模は、敷地1万5548m<sup>2</sup>にRC造り6階建て延べ1万6115m<sup>2</sup>。病床数は352床で、内訳は一般176床、HCU8床、回復期リハビリテーション90床、療養78床。医療機器は、一般撮影装置 間接変換FPD装置5台、FPD搭載多目的デジタルX線TVシステム1台、80列・マルチスライスCT装置1台、MRI1台、X線骨密度測定装置1台、回診用X線撮影装置1台、外科用X線撮影装置2台を保有。

### ジャパンメディカルアライアンス 施設一覧

名称	住所	電話	概要
JMA 東埼玉総合病院	埼玉県幸手市吉野517-5	0480-40-1311	193床、13科
JMA 海老名総合病院	神奈川県海老名市河原口1320	046-233-1311	469床、21科
JMA 海老名メディカルサポートクリニック	神奈川県海老名市河原口1519	046-235-1311	2科
JMA 海老名メディカルプラザ	神奈川県海老名市中新田439-1	046-234-6529	3科
SMA 下田メディカルセンター	静岡県下田市6-4-10.	0558-25-2525	154床、15科
JMA 東埼玉総合病院附属清地クリニック	埼玉県北葛飾郡杉戸町清地5-1-2	0480-37-2511	4科
SMA しらはまクリニック	静岡県下田市白浜1528-2	0558-27-3700	3科
SMA 下田メディカルセンター附属みなとクリニック	静岡県賀茂郡南伊豆町湊674	0558-62-0005	1科
JMA 介護老人保健施設 アゼリア	神奈川県海老名市河原口1357-1	046-231-1311	105床
JMA 介護老人保健施設 コスモス	神奈川県横浜市磯子区滝頭1-2-1	045-751-4165	80床
SMA 介護老人保健施設 なぎさ園	静岡県賀茂郡南伊豆町湊674	0558-62-6800	80人、短期10人
JMA 座間総合病院	神奈川県座間市相武台1-50-1	046-251-1311	352床、19科

## 東日本エリアで開業した新病院

### 2017年

#### 伯鳳会ら、白髭橋病院を移転新築

(医) 伯鳳会とそのグループは、東京曳舟病院を17年4月1日に開院した。これに伴い、シーメンスヘルスケアと救急災害医療を中心とした医療機器の運用に関するパートナーシップを締結している。

東京曳舟病院は白髭橋病院を移転新築し、新たな名称でオープンした。同病院は東京都指定の災害拠点病院、東京DMAT指定病院として高度な救急医療をできる環境にあり、シーメンスヘルスケアは東京曳舟病院に対し、多軸透視撮影装置Artis zeegoを用いた「ハイブリッドER」の導入・サポートを行う。ハイブリッドERは、一般的なハイブリッド手術室(OR)を救急災害医療へ応用したものであり、ハイブリッドERを効果的に活用するため、両者は救急災害を想定したリハールを定期的に行っていく。このほか、高精度、広範囲、高速で診断するためのCT装置や脳卒中・急性期の患者のための血管内治療に対応した血管撮影装置も導入し、救急災害医療だけでなく地域に根差した病院として、高度な医療を提供できる体制を整えた。パートナーシップの内容は、画像診断・治療に関する最新または最適な医療機器の提供、救急災害医療における診断・治療ワークフローの総合支援、新たに開設した東京曳舟病院のブランド構築支援、シーメンスのリファレンスサイトとして、知識交流や共同研究を推進する。

17年4月1日の開院から同年5月25日までの期間で、ハイブリッドERでの手術は、脳神経外科11件、血管外科9件、循環器科6件であった。年間では全手術の10%、150件程度をハイブリッドERで行う見込み。ハイブリッドORが定期的実施され、想定された操作者、確定的な作業手順で精度を重視する。一方、救急処置と画像診断が要求されるハイブリッドERは、不定期に実施され、要求される機能が多様で、操作者の予定が不可であり、作業手順は臨機応変かつ迅速性を重視するため、自然災害やテロなどの不測の事態に備えて、普段からのリハールが欠かせないとしている。同病院では、ハイブリッドERのほか、救急診断のトレンドとなっている高速全身CT撮影用に128列のSOMATOM Definition AS+を導入、10秒以内に全身撮影を終えられる。また、血管内治療撮影室には、パイプレーン型血管撮影装置Artis Q Biplaneを導入した。

なお、前身の白髭橋病院は03年から11年までは年間4000～6000台の救急車搬入台数で推移。伯鳳会が経営の譲渡を受けた12年には7234台、13年7694台、14年9059台、15年9771台、16年8708台となっており、14～16年の3年間は、都内では国立病院機構 災害医療センター、慶應大学病院に次ぎ、第3位となっており、医療法人では第1位を占める。伯鳳会グループの17年の業績は、医療総収入が390億円、経常利益39億円。明石はくほう会病院、姫路産婦人科小国病院、かみかわ健康福祉の郷、大阪暁明館病院、はくほう会



開院した東京曳舟病院



全身撮影用高速CT

**日本赤十字社 成田赤十字病院：増改築**

千葉県

【所在地】〒286-8523 千葉県成田市飯田町 90-1 Tel.0476-22-2311

【開設者】日本赤十字社 【院長】角南 勝介 【事務長】— 【診療科目】内、小、精神、神内、外、整、脳、心外、歯口、産婦、眼、耳、皮、泌など22科 【病床数】716床（現在）

【計画地点／規模】所在地に同じ／—

【事業費／着工／完成】—／—／—

【設計／施工】—／—

【計画内容】院内では、1975年に完成したB棟、C棟を中心とした増改築、既存建物の改修・機能再配置について構想がある。今後検討を行うが、具体化時期は未定。同病院は、00年6月完成の新本館（地下1階地上8階）、B棟（精神科、売店、理容室、喫茶軽食、通院治療センター、管理）とC棟（管理部門）、86年完成のF棟（リハ、検査室、心電図、超音波、救急、ICU、病棟＝小、脳、形、呼内、呼外）、92年完成のG棟で構成。院内のこれまでの検討では、B棟とC棟の管理部門をF棟の医療機能の受け皿としての改修や、また、新本館やG棟と機能再編や機能強化を図るための新たな建物建設を描いている。順調に進めば19年度以降に基本構想を策定するもようである。

千葉県

**習志野第一病院：新棟**

千葉県

【所在地】〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 5-5-25 Tel.047-454-1511

【開設者】(医) 菊田会 【院長】三橋 繁 【事務長】—

【診療科目】整、耳、内、神など20科 【病床数】183床（現在）

【計画地点／規模】所在地に同じ／9階建て延べ5358m<sup>2</sup>

【事業費／着工／完成】—／2017年／2020年6月

【設計／施工】大成建設／大成建設

【計画内容】同病院は診療科目20科、病床数183床で地域に根ざした急性期型の病院として機能している。施設は、70年に開設以降、増改築を行ってきたが、施設の老朽化などにより本館、西館、東館の改築を行う。施設規模は、敷地面積5427m<sup>2</sup>に9階建て延べ5358m<sup>2</sup>。同病院は、20年に50周年を迎えるが、これからの50年を見据え、救急医療の更なる充実や施設の安全性の向上など、安全で質の高い医療を提供できる環境を整備し、習志野の地のレガシーとなるような病院を目指している。建屋は、大成建設の設計、施工により建設中で、20年6月の完成を予定している。新棟に合わせ、診療科目、病床数を増やす予定はない。

**おおたかの森病院：増築**

千葉県

【所在地】〒277-0863 千葉県柏市豊四季 113 Tel.04-7141-1117

【開設者】(医) 誠高会 【院長】松倉聡 【事務長】—

【診療科目】循内、神内、呼など18科 【病床数】199床（現在）

【計画地点／規模】所在地に同じ／3階建て延べ2778m<sup>2</sup>

【事業費／着工／完成】—／2018年12月／2019年11月

【設計／施工】竹中工務店／竹中工務店

【計画内容】同病院は、2005年に2次急性期病院として開院し、診療科目は循環器内科、神経内科、呼吸器科など18科、病床数は199床。今回、千葉県から42床の病床配分許可を得たため増床を行い241床とする計画で、これに伴い建屋の増築を行う。詳細は明らかにしていないが、隣接の駐車場敷地を活用し、増築を行うもよう。施設規模は、敷地面積1562m<sup>2</sup>にRC造り3階建て延べ2778m<sup>2</sup>。竹中工務店の設計、施工により18年12月の着工、19年11月の完成を予定している。なお、同病院ではこれまでに2期増築を完了しており、今回の増築工事は3期工事となる。

**岡田病院：移転**

千葉県

【所在地】〒277-0842 千葉県柏市末広町 2-10 Tel.04-7145-0121

【開設者】(医) 聖峰会 【院長】岡田敏英 【事務長】—

【診療科目】7科（内、外、小、整、婦、泌、リハ） 【病床数】162床（現在）

【計画地点／規模】柏市末広町／—

【事業費／着工／完成】—／—／—

【設計／施工】—／—

【計画内容】同病院は、柏駅西口北地区市街地再開発事業の地権者として再開発ビル内への入居を計画している。再開発事業は、柏駅西口北地区市街地再開発準備組合（柏市末広町15-2、Tel.04-7136-2311）が、柏市末広町のJR柏駅西口前の高島屋を含めた敷地面積3万7000m<sup>2</sup>の広大な敷地において計画。地権者は全体で95人。施設内容は、共同住宅、岡田病院、高島屋を含めた商業施設の複合再開発となる見通し。事業協力者は、三井不動産、コンサルタントは日建設計であり、19年度の都市計画決定、20年度の本組合設立を目指している。



書 名 .....病院計画総覧 2019 年版  
体裁・頁数 .....B5 判 オフセット刷り 512 頁  
定 価 .....25,000 円 + 税  
発 行 .....2019 年 2 月 12 日